



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2012

3

Bulletin

2012.3.1発行

第26巻第9号通巻315号

主
題

国際会長 Audere est Facere — To dare is to do とにかくやろう — 成せば成る
アジア会長 To dare is to do とにかくやろう — 成せば成る
西日本区理事 ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 理想を目指して変革と行動！
京都部部長 志を共有し、小さな一歩大きな前進 ~思いやりと感謝の気持ちで粘り強く~
メネット主任 メンと共に歩める喜び

聖
句

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。
光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。

エフェソの信徒への手紙 5章8~9節



『25周年記念例会を終えて』

25周年記念事業実行委員長 西村 博

2012年2月25日、小雨の降る土曜日。いよいよその日がやってきた。

今期期首より25周年記念事業実行委員会を立ち上げこの日のために、会員一同一丸となって準備を進めてきた。期首には会員が13人と落ち込み、記念事業をどうして行くか悩める時期もあったが、人数に関係なく、25年の歴史を持つわがプリンスクラブらしい記念事業を目指し良い記念例会を持てるよう、メンバーそれぞれが、それぞれの立場で全力を尽くしていこうということで、準備がスタートした。僣越ながら実行委員長に立たせていただき会員の理解をいただきながら、この日に向けて準備を進めることとなった。

記念事業としては、YMCAからの要望を受け、サバエキャンプ場にシャワー棟の設置を目指すこととなり、プリンスクラブの今日までのサバエでのアクトに加えての新しい1ページとなることであろう。

記念例会は、プリンスクラブ設立時からの活動テーマである「未来の子供たちのために」をコンセプトに検討を進めた。会員数が少ないところを、若い力でカバーしてもらおうと在京の高校生・大学生の活動に眼向け、彼らの日頃の研鑽の成果を披露してもらおう場として、記念例会に招くということになった。岡西会長をはじめ皆でいろいろとリサーチし検討した結果、同志社高校マンドリンクラブ・同志社大学タップ(ShimSham)・同志社大学フラダンス(メアラ・ノヘアラニ)そしてノートルダム女子大と龍谷大学のヨコガ集団(京炎そでふれ!輪舞曲)の4つのグループを招くこととなった。どのグ

ループも発表の機会をもらえたと参加を快諾してくれた。

プリンスクラブの歩みを紹介するドキュメント(?)の制作を森ワイズが買って出た。ナレーションはこの25年間プリンスと伴に歩いてくれた岡本育子さんをお願いすることも決まった。当日のプログラム編成や進行は廣井初代会長指揮の下、プリンスの若い力を投入することも決まった。着々とメンバーがそれぞれの場で惜しめない努力を続けてくれた。感謝感謝である。

その間、クラブとしては新入会員として山口・飯尾氏の二名を向かえ、それを力に周年事業の推進に努めた。メンバー総力を挙げ、京都部をはじめ多くのクラブを手分けして訪問し25周年記念例会への参加をお願いしていった。2011年末の時点では参加予定者が100名に満たず先行き不安を抱えていたが、メンバー個々の呼びかけ努力が実り最終的には200名を超えるワイズメンが参加していただけることとなった。

記念例会直前の2月22日には参加者皆で最終打ち合わせが行われた。実行委員長でありながら私は欠席させていただき申し訳なかったと思っている。その理由は、私は私自身の思いでIBCを結んでいるハワイウエストオアフクラブに再度参加のオファーに出向いていたからだ。残念ながらハワイのメンバーの参加は実現しなかったが、ヨコガ会長からお祝いのメッセージを預かっていただくことができた。ウエストオアフクラブからは交流記念としてメンバー全員に交流の記録がフォトブックとして贈られた。感謝である。

会長主題

全ての者が
一つと成る為に

みんな仲間
生涯の友となろう!

会 長 岡西 博司
副会長 小野 敏明
三村 良行
書 記 西村 博
会 計 荒木 利彦

強調月間

E F ・ J W F

3月 例会案内

7日(水)通常例会

記念例会明けの「お疲れさん」的な例会をと考えています。肩の力を抜いてご参加ください

21日(水) 訪問例会

ウエルクラブの例会場京都市平安ホテル(旧平安会館)で開催いたします。例会場を間違えないようにね。ウエルクラブがどんな例会を作ってくれるのかが楽しみです。

例会出席

| | |
|--------|-------|
| 2月第一例会 | 9名 |
| 2月第二例会 | 13名 |
| 在籍者数 | 16名 |
| 広義会員数 | 2名 |
| 出席率 | 93.6% |

BFポイント

| | |
|----|-----|
| 切手 | 0pt |
| 現金 | 0円 |
| 累計 | 0円 |

ファンド

| | |
|--|----|
| | 0円 |
|--|----|

累計 299,432円

ニコニコ

| | |
|--------|---------|
| 2月第一例会 | 2,000円 |
| 2月第二例会 | 0円 |
| 累計 | 22,000円 |

設立25周年記念例会

2012. 2. 25

三木貴夫

プリンスクラブ25周年記念例会(2.25)が無事終了しました。全国各地より駆けつけて下さったワイズメンやプリンスクラブOBを合わせ200名余りの出席者です。今期初めより岡西会長の下、西村実行委員長や多くのメンバーがこの

日に向けて心血を注いで企画してきました。岡西会長の“今日は楽しんでやろう”と言う掛け声のもと、メンバー、メネット、ウェルクラブが力を合わせ約4時間の例会を無

事終了することが出来ました。正午にホテルに集合し、念入りなりハーサルが行われました。午後4時岡西会長の開会点鐘の後、全員でのワイズソング斉唱で始まった式典に続き、第二部では若者達によるパフォーマンス、そして懇親会。最後は西村実行委員長の謝辞で締めくくりました。4時間の長丁場ではありましたが、25年目の区切りにふさわしい素晴らしい例会だったと思います。1986年にチャーターしたプリンスクラブは、一時50名近くのメンバーが在籍しておりましたが、時の移り変わりと共に少ずつ減少し、現在は15名で活動しています。しかし今期、新メンバーを二人迎えることが出来少しずつ新しい道を歩み始めています。今日のこの例会を、を単なる周年行事としての区切りとしてのみとらえるのではなく、クラブの新しいスタートと位置づけられればと思います。多くの方の出席ありがとうございました。そして学生諸君の素晴らしいパフォーマンスありがとう。



廣井武司

25周年記念例会を無事終えて、すごく充実した気持ちになりました。いままで何度か記念例会や部会などをホストする経験をしました、今回ほど終わっていい余韻が残ったことはなかったように思います。

それぐらい今回はメンバーの心が成功させよう一つになり、一致団結ができたことが素晴らしい結果を生んだのだと思います。そして、素敵な時間と経験が共有できたことはいいクラブの財産になったと感じます。練習であれほどバラバラだった「ハカ」の演技も本番ではばっちり決まりました。やるときゃやる、プリンスのメンバーの心意気を感じた一日でした。

記念例会直前のYMCAでの打ち合わせ、一抹の不安もありましたが、この日のみんなの顔は真剣そのものでした。無駄なく当日のスケジュールの確認、スライドの打ち合わせ、そしていまいっしょに「ハカ」の練習と時間はアツというまに過ぎていきました。いつも横道にそれる話も全くなく、本当にこの日はみんなの真剣さ感じられました。

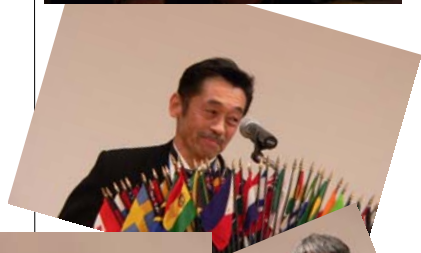
迫り来るプレッシャーに団結心が芽生えた会議になったようです。

わずか13名のメンバーで200名以上のワイズメン、メネット、ゲストそしてクラブのOBの方々をお迎えするという大冒険でした。しかし、みんなが役割を分担して、誰一人気を抜くことなく、この日の例会に専心してくれたことが、結果としてお客様の心に大きな感動をあたえたのです。細かいところでいろいろ反省点はあったとしても、いまはクラブのメンバーが一つの輪になって会長の掛け声のもとこの日を大いに楽しんでくれたことは、これからのプリンスクラブにとって大きな足跡になったと思います。

またやってみたい、もっと多くの人でやってみたいとメンバーの声に疲れも吹っ飛んで、涙がこぼれそうになりました、ありがとう。

25周年はまだ記念誌の編集、発刊があります。もう少し時間と知恵をお貸しください。

やってよかった、すごかった、おもしろかった、楽しかった、美味しかった、そんな言葉しか今は出てきません。



設立25周年記念例会には、多数のご参加をいただき、心より御礼申し上げます。

京都部チャリティーボーリング

2012. 1. 25
飯尾 豊

1月25日にしょうざんボーリング場にて京都部CSボーリング大会が開催されました。参加は京都の主だったクラブが参加され、広いしょうざんボーリング場のフロアー全てを使用しての大会で約200名近い参加者で競われました。プリンスクラブからは、私と廣井さんと岡西会長が参加しましたが、岡西会長は丁度ひざを痛めておられてドクターストップ、応援のみとなりました。

さて私、ボーリングは約30年ぶりでなかなかボーリングをする機会がなく、今回の大会があると聞き本当に楽しみにしていましたが、実際久々にボーリングを投げてみると、最悪。足元はふらつき、ボールはピンに当たってくれないし、昔はこの様ではなかったのにと悔やむばかりでした。

昔の話をしますと、Myボール、Myシューズを持って、1時間から2時間待ちが殆どで、スコアは鉛筆を舐め舐めXマーク(ストライク)を書くのが楽しみでしたが、今回はすべてコンピュータが記録し、10フレーム目のあまったピンを倒すのを楽しみにしていましたが、全自動で掃除してくれ、時代は変わったなと痛切に感じました。

成績は聞かないで下さい。廣井さんは豪快なフォームでストライクを重ねて軽く170オーバー、私はなんとか100オーバーがやっと、でも楽しい一日でした。



サンライズだより

サンライズ2月の第一例会は2月9日(木)19時より、メンバーの大谷さん(学舎OB)の提案で、初めて東京YMCA山手学舎で舎生を交えて行われました。

山手学舎とは、(多分)戦後まもなくの頃、焼け野原で住宅事情が最悪だった頃にアメリカのYMCAからの援助で購入された木造の学生寄宿舍が原点で、その後、東京YMCA山手会館が現在の5階建ての建物に建て替えられた時に最上階の5階に移された、男子学生のための学生寮です。定員は14名で、現在12名の舎生が入舎しています。【4月からの新舎生を募集中！】

例会の卓話は「本当は怖い洋楽ヒットソング～あなたの知らないあの曲の本当の意味～」と題した太田利之さん(著述業)のお話。オリジナルの曲を聞きながら歌詞に秘められた本当の意味を伺いました。例えば結婚式の定番ソングが、女性からの別れ話の歌。日本では故郷を偲ぶ歌として訳されている歌詞が、本当は死刑囚の最後の歌とか。ヤマハミュージックメディアより出版された表題の著書より選ばれた何曲かの解説を聞かせていただきました。若い舎生にはなじみのない曲でしたが、我々にはなかなか興味深いものでした。

例会後、そのまま会場を模様替えて、3テーブルに別れて「鍋パーティー」を行いました。会場と道具はお借りしましたが、ジイさんバアさんが下ごしらえから調理までを担当し、舎生に御馳走しました。若い人たちと最終電車を気にしながら、11時半ころまで、飲んで食べて会話を楽しみました。今後、少なくとも年に一回はこのような交流を持ちたいことを確認し、散会しました。

参加者:舎生 9名、Y主事 2名、ゲスト 2名、ビジター 3名、サンライズ 9名。

西條だより

先日の25周年記念例会でお会い出来とても嬉しかったです。有り難うございました。

我がクラブも後に続き頑張って参ります。よろしくお願ひいたします。

メンバーが増えなくて悩んでいます。いろいろと趣向を考え楽しい例会にし、みかん山の管理収穫 椎茸の植え付けなどイベント的な行事も考えて行動をおこす準備をしているところです。一部の者の動きではなかなか思うようにまいりません。全員で一致団結して前にすすんでこそ実るでしょう。



いま、新しい生き方「ダブルキャリア」という考え方が図書やテレビなど

で頻繁に取り上げられています。自分自身の本業に加えて、もうひとつのキャリアとして社会貢献活動やボランティア活動を行うことによって、そのこと自体が自分自身の生き方だけでなく本業にとっても、大変プラスになっていることが紹介されています。

YMCAに関わるボランティアの方々には、まさにその生き方をされているのではないのでしょうか。そして、ワイズメンの方々はその術を、すでにもっておられるのではないのでしょうか。

ワイズメンの皆さんは日ごろよりYMCAの事業をサポートしていただくことを通して、青年や子どもたちの課題に目を向け、障がいや病を持った方々に寄り添うことの大切さを知っておられます。貧困や差別をはじめとした国際社会の課題や平和な社会を作り出すことや、生と死といった課題についても、身近な問題として考え、例会の中や委員会で話し合い、時には二次会で真剣に課題解決に向けて意見交換し合っておられます。永きにわたって時代を先取されてこられている団体であるといえるでしょう。

春がきて、YMCAにおいても多くの青年たちが巣立ち、また新たな青少年が集います。そして、東日本大震災から一年、まだまだ寒い東北の地域で、多くの方々が寄り添って生活を送っておられます。更には、原子力発電に依存しない新しい生き方が求められています。

ワイズメンズクラブの皆さんには、是非ダブルキャリアの先駆者としてこれからも、それぞれの分野で、YMCAと共にリーダーシップを発揮していただきますようお願いいたします。



1. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて受け賜ります。スィミングスクール／幼児・少年体育活動 2月22日(水) 午前10時より電話075-255-4709 グローバルアウトドアクラブ 2月22日(水) 午前10時より電話075-231-4388 電話075-231-4388

2. 2011年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多く少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後活かされることを祈るとともに祝いたいと思います。とき 3月11日(日) 午後2時～5時30分 (受付午後1時30分開場) 会場 京都YMCA 三条本館 1階ロビー及びマナホール

3. 京都YMCA第9回発達障がい児理解セミナー

日時:3月10日(土)午後1時30分～午後4時30分 場所:コープ・イン・京都 2階 会議室 内容:第1部基調講演「発達障がい児のリクリエーションにおける実践と課題」 講師:中村 彰利 [京都YMCA発達障がい児サポートプログラムディレクター] 第2部 パネルディスカッション「発達障がい児と社

会をつなぐ」

パネリスト 小谷裕実氏(花園大学社会福祉学部臨床心理学科教授) 木村厚美氏(京都ADHD親の会クローバー代表 京都市発達相談員) 松村幸裕子(京都YMCA発達障がい児サポートプログラムディレクター) 参加費: 1,500円

4. サバエ教育キャンプ場・リトリートセンター夏期利用案内

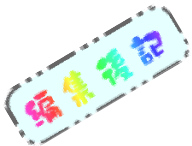
自然いっぱい心が安らぐサバエキャンプ場・リトリートセンターでは夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。30名以上 3月7日(水) 午前10時～ 30名未満 3月9日(金) 午前10時～ リトリートセンター2012年4月～2013年3月まで(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第62回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。日時:3月17日(土) 午後7時～9時 場所:京都YMCA(三条柳馬場) 参加費:お一人 300円(お茶代等) お申込は下記お電話またはvb@kyotoymca.or.jpまで

3月 スケジュール

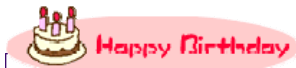
- 7日(日) 通常例会 19:00 グランドプリンスホテル
- 10日(土)～11日(日) 次期会長・主査研修会 13:00 新大阪チサンホテル
- 11日(日) YMCA卒業リーダー祝会 14:00 京都YMCAマナホール
- 21日(水) 通常例会 19:00 グランドプリンスホテル
- 28日(水) 役員会 19:30 京都YMCA



来る5月21日(月)お天気の良いければ、午前7時20分～40分の間に日本の各地で太陽がリング状に見える金環日食を見る事が出来、大阪近辺では午前7時30分ごろに金環食となる。金環日食は、部分日食に比べて非常に珍しい天文現象で、十年から数十年に一度しか起こりません。ちなみに前回日本で見る事が出来たのは、25年前に沖縄で観測されました。また次回とはいえば、18年後の2030年6月1日に北海道でという事になります。

役員会報告

承認された議案 なし



- 7日 西堀 和之
- 9日 西村 博
- 16日 三村 良行

日食は、太陽と地球の間を月が通過する時に起きる現象です。地球上の観測地点と太陽を結ぶ線上を月の中心が通過する時に、金環食が起こります。月の中心が少しずれると部分日食となります。とにかく5月21日朝の金環日食は、京都でも見る事の出来るともまれな天文現象です。てるてる坊主を作って、晴天の朝を迎えられる事を祈りたいものです。